

下田 凜太郎

14期生—平成28年度卒—
琉球大学農学部亜熱帯農林環境科学科卒

夢を追って、沖縄へ。
待っていたのは「挫折」だった。

科学技術高校の活動で西表島を訪れたことから
沖縄の自然に興味を持ち、琉球大学 農学部 亜熱帯
農林環境科学科に入学しました。最初は研究職を
夢見て大学生活に励んでいましたが、研究職を生
き抜く厳しさ知り、挫折を味わいました。

「何があっても、大丈夫」

挫折した僕から、
皆さんにエールを。

Life-changing Learnings



N O . 2

人生を変えた、学びの記憶。

沖縄の自然に興味を持ち、研究者を目指し琉球大学へ
進学。理想と現実の差を目の当たりにし、挫折を経験
するも、夢を追って北海道へ。現在は環境アセスメン
ト業務に従事し、生活環境調査に取り組んでいる。

環境に携わりたい一心で、北海道へ。

それでも環境に携わる仕事に就きたいという
思いは変わらず、現在はエヌエス環境株式会社
の札幌支社で環境アセスメントの仕事に従事し
ています。生態系などの自然環境調査から水質、
ゴミや騒音に関わる生活環境調査まで多岐にわ
たる項目を取り扱っており、私は生活環境調査
に取り組んでいます。高校、大学とは違う分野で
の仕事ですが、科学技術高校の第三分野で学ん
だことは今の業務でも僕を支えてくれています。

「好きなことを好きと思う気持ち」に
自信を持つて。

かつて私が抱いていた夢と、今の私が歩む道
は同じものではありません。しかし、こうして環
境に関わっていること、私を支えてくれる人が
いることを、心の底から嬉しく思っています。
もしかしたら、東京から沖縄に、さらに北海道
に行った上に挫折をした人間の言うことなんて
参考になるかよ、と思われたかもしれないね。
ですが、もしこの先うまく行かないことに出会っ
たら、私の言葉を思い出してみてください。

一度立てた目標がすべてではありません。誰
かと比べて、「ぼくはだめなやつだ」とする必要
ありません。回り道だとしても、めげずに、
好きなことを好きと思う気持ちを支えに「あな
たのペース」で歩み続けることを忘れないでく
ださい。少なくとも、私はそうして生きてきま
した。だから、自信を持って伝えることが
できます。「何があっても大丈夫だ」と。
遠い北海道の地から、みなさんの将来がよい
ものであることを、心より願っております。